**吹上地域包括支援センター　担当**

* **日　時：　令和５年５月１６日（火）午後2時1０分～２時4０分**
* **会　場：　栃木市役所**
* **事例数：　１ケース（R4年１１月１５日検討した事例の振り返り）**
* **参加者数： 10名**

**事例提供者１名、助言者６名、包括職員2名、傍聴者１名**

**社会情勢（コロナ禍）の変化によって交流の場が減少し、自宅で過ごすことが多くなり、歩行能力の低下がみられる８７歳女性。**

**〈目標〉１日：ラジオ体操を行うことができる。**

**１年：近所のスーパーに買い物に行くことができる。**

**利用サービス：通所型サービス（緩和型）**

**《前回会議での支援策》**

**助言内容**

**・冬場の時期は、脳卒中、心筋梗塞に注意が必要。**

**・トイレや脱衣場に暖房をつけるなど、温度差が大きくならないように工夫する**

**・残歯を維持する為定期的に歯科受診をする。嚥下機能の低下を防ぐため、顔面体操や舌を動かす体操等取り入れ、飲み込む力を維持する。**

**・手足の筋肉を維持する為タンパク質をとる。昼食を定食形式にしてしっかりとり間食を減らす**

**支援方針**

**・本人の意欲を維持するために、現在利用しているサービスを継続する。**

**・住環境や食生活の見直しを検討していく。**

**《支援結果・状況》**

**達　成**

**・本人の移動経路に暖房を置き、温度差の軽減ができた。**

**・デイサービス利用は継続できている。**

**・歯科の定期受診をしている。**

**未達成**

**・長距離歩行ができなくなり、歩行器のレンタルが中止となった。**

**・食生活の改善ができていない。**

**《特記事項》**

**・筋力低下を防ぐためにも自宅でできる体操を行う。口腔機能の維持を図る。**